

国宝・重要文化財の保存事業と活用

宝物館館長

新

光

晴

平成二十一年度から開始された重要文化財「専修寺聖教」の修理事業は、「令和元年」に十一年度の修理に入ります。「専修寺聖教」は、善導大師・法然・親鸞聖人が撰述された典籍の、聖人自筆本と真慧上人のころまでに筆録された門弟たちの書写本や木版本の総称で、冊子体の聖教五十八点のうち、昨年度までに三十六点の修理を実施しました。このうち、平成二十三・二十四年度には、国宝本『西方指南抄』の緊急解体修理も事業の一環として実施され、裏表紙の中から親鸞聖人自筆の外題と袖書部分が発見されたことも話題となりました。

この事業については、文化庁が、平成三十年度から「地域活性化のための特色ある文化財調査・

活用事業」として、修理後の文化財公開や講演などによる積極的な活用を促しています。同様の活用事業については、すでに、三重県が平成二十六年から継続実施されていて、専修寺においても修復文化財関連の講演会を毎年実施しています。今年度は第六回目の講演会で、九月二十八日（土曜日）の午後一時から講演会（1時間半）を開催します。今年度は先に述べた文化庁の方針もあって、多くの人々の聴講を期待しています。講演の内容は平成三十年度に修理が完了した安居院あぐい聖覚せいかく『唯信抄ゆいしんしょう』（顕智上人書写本、聖覚は親鸞聖人が法然門下時代の先学で説法の達人）についてのお話です。

今年度からは、専修寺ホームページに掲載して周知を図るとともに、津市一身田町の各自治会への回覧等を行い、地元小中学校、高校、短期大学にチラシの配布を行うなど、地域内文化財の知識を深めるため、地元の住民をはじめとして児童、生徒、学生などにも周知を行う予定です。

宗 達

宗 達 第一一二七号

真宗高田派宗制七十九条第二項により令和元年五月二十八日第百六十六宗議會を召集せらる

平成三十一年三月一日

法主鈴印

宗務総長 大僧都 増 田 修 誠

任 免

平成三十一年三月一日

真宗高田派専修寺横浜別院乘願寺承事を命ずる

永福寺衆徒 五十嵐一樹

平成三十一年三月十二日

第百六十六宗議會宗務委員を命ずる

監正局長 佐藤 唯信

第百六十六宗議會説明委員を命ずる

庶務課長 多賀 孝顕
教学課長 栗廻 隆興

高田学苑長 高臣 亮雄

高田保育園園長 栗真 恵光

高田幼稚園園長 佐藤 弘道

光寿園園長 藤井 智雄

慈光院院長 高林 光暁

高田会館支配人 磯谷 優

第百六十六宗議会書記を命ずる

財務課長 本堂 千晃
共済会事務局 梅林 清香
顧問会計士 山中 利之

録事 村上 英俊
録事心得 塩崎 慶脩

組長交代

平成三十一年三月三十一日

依請解其職 愛知第八組組長

都築 真海

依請解其職 栃木組組長

柳 貴宗

平成三十一年四月一日

愛知第八組組長を命ずる

浄光寺住職

黒田 廣顕

栃木組組長を命ずる

浄琳寺住職

蘭田 晃利

住職拝命

平成三十一年三月二十七日

福井県坂井市三国町加戸 常楽寺衆徒

伊藤 雅念

補 常楽寺住職・任 常楽寺代表役員

依請解其職 常楽寺住職・常楽寺代表役員

伊藤 泰臣

三重県津市香良洲町 西方寺衆徒

押小路蓮優

補 西方寺住職・任 西方寺代表役員

依請解其職 西方寺住職・西方寺代表役員

押小路蓮門

三重県津市白山町佐田 常照寺衆徒

藤高 法照

補 常照寺住職・任 常照寺代表役員

依請解其職 常照寺住職・常照寺代表役員

藤高 静照

三重県津市高野尾町 豊久寺衆徒

熊谷 深信

補 豊久寺住職・任 豊久寺代表役員

依請解其職 豊久寺住職・豊久寺代表役員

懸 妙豊

住職代務者

平成三十一年三月四日

三重県津市美里町北長野

龍光寺住職

米増 龍雲

三重県津市久居一色町
英眞院 顯大 老分一等

浄見寺衆徒

醫山 顯大

三重県鈴鹿市国分町
正覚院 博道 中老二等

光福寺衆徒

川口 貴博

三重県津市美里町北長野

補 常照寺住職代務者・任 常照寺代表役員代務者

三重県鈴鹿市国分町
正法院 妙和 中老二等

光福寺衆徒

川口 和代

福井県福井市鮎川町
月光院 隆泉 大衆分

願生寺衆徒

出見 隆晟

得 度

平成三十一年三月二十七日

三重県津市上浜町

至遵院 智英 准上座格三等

深正寺衆徒

春日部智輝

三重県多気郡明和町大字明星

瑞光院 希教 院家首席二等

轉輪寺衆徒

明星 希教

三重県鈴鹿市若松中

澄恵院 妙慧 老分一等

見潮寺衆徒

西居 恵子

愛知県稲沢市千代町社宮地
和敬院 崇恵 大衆分

崇願寺衆徒

大澤 崇人

身分堂班

平成三十一年三月二十日

列 其身一代堂班 准上座格二等、准上座格一等

准上座三等

立法寺衆徒 岡 妙重

讚佛会復演

三・二一 日中

中僧都

真置 和徳

平成三十一年三月二十七日

列 其身一代堂班 院家首席一等

准上座格三等

常照寺住職 藤高 法照

三・一八 晨朝

權中僧都

田中 明誠

三・一九 晨朝

少僧都

浦井 宗司

三・二〇 晨朝

權大僧都

長谷部行雄

三・二一 日中

權中僧都

中村 宜成

三・二二 晨朝

少僧都

山中 真論

三・二三 晨朝

律師

東雲 正乘

三・二四 晨朝

少僧都

真置 信海

平成三十一年二月十二日
神奈川県横浜市港南区笹下

成就院衆徒 浦上 哲也

神奈川県横浜市港南区笹下

成就院衆徒 浦上 智子

還俗

布教任命

三月御影堂常在説教（晨朝）

三・一	權中僧都	安藤 章仁
三・二	權大僧都	戸田 栄信
三・三	大僧都	上田 隆順
三・四	權中僧都	藤田 正知
三・五	權中僧都	田中 明誠
三・六	權中僧都	里榮 秀教
三・七	大律師	久世 宜範
三・八	中僧都	青木 義成
三・九	權中僧都	生桑 崇等
三・一〇	大僧都	上田 隆順
三・一一	權中僧都	中村 宜成
三・一二	少僧都	山中 真諭
三・一三	權中僧都	梅林 清香
三・一四	少僧都	岡 知道
三・一五	中僧都	佐藤 弘道
三・一六	律 師	北畠 心淳
三・一七	中僧都	青木 義成
三・二五、二六	權大僧都	浦井 宗司
三・二七	律 師	古芝 智泉
三・二八	少僧都	上田 英典
三・二九	權中僧都	戸田 恵信

三・三〇
三・三一

三月御影堂常在説教（逮夜・日中）

三・七	逮夜	權少僧都	高藤 英光
三・八	日中	權少僧都	高藤 英光
三・九	逮夜	大律師	北畠 大道
三・一〇	日中	權少僧都	佐々木善徳
三・一五	逮夜	權少僧都	真置 信海
三・一六	日中	大律師	北畠 大道
千部法会（日中）			
四・六		權大僧都	真昌 智海
四・七		少僧都	花山 光瑞
四・八		權少僧都	真置 信海
十萬人講法会（日中）			
四・九		律 師	隆 妙灑
四・一〇		權中僧都	松山 智道
戰没者追弔法会（日中）			
四・一一		權大僧都	浦井 宗司

四月御影堂常在説教（晨朝）

四・一	權中僧都	里榮	秀教
四・二	權中僧都	安藤	章仁
四・三	少僧都	岡	知道
四・四、五	權中僧都	田中	明誠
四・六	大律師	北畠	大道
四・七	權大僧都	戸田	采信
四・八	權中僧都	藤田	正知
四・九	權中僧都	中村	宜成
四・一〇	少僧都	山中	真論
四・一一	大律師	北畠	大道
四・一二、一三	大僧都	上田	隆順
四・一四	少僧都	藤澤	真樹
四・一五	律師	隆	妙灑
四・一六	少僧都	山中	真論
四・一七	權中僧都	鷺山	了悟
四・一八	權中僧都	中村	宜成
四・一九	權少僧都	真置	信海
四・二〇	律師	田中	唯聰
四・二一	權中僧都	戸田	惠信
四・二二	權少僧都	真置	信海
四・二三	中僧都	佐藤	弘道

四・二四	律師	水沼	碧水
四・二五、二六	權大僧都	浦井	宗司
四・二七	律師	山中	久行
四・二八	律師	若林	妙百
四・二九	少僧都	上田	英典
四・三〇	律師	北畠	心淳
四月御影堂常在説教（逮夜・日中）			
四・一五	權少僧都	高藤	英光
四・一六	權少僧都	高藤	英光
日中			
高田慈光院 月例法会			
三・一〇、一六、二六	權大僧都	藤山	真哉
四・一〇、一六、二六	少僧都	山中	真論
高田報徳園 月例法会			
三・一五	權中僧都	田中	明誠
四・一五	律師	隆	妙灑

敬 弔

次の方々が御往生なさいました。謹んで敬弔の意を表します。

平成三十年

七・四

愛知県岡崎市昭和町字川田

宝乗寺衆徒

服部 泰史

平成三十一年

一・二十五

三重県津市河芸町北黒田

浄光寺前住職

佐々木三省

贈 中僧都

二・四

長崎県島原市中野町丙

専光寺前住職

蒲池 稔彦

贈 中僧都

二・十六

三重県亀山市関町新所

誓正寺住職

松枝 信瑞

贈 大律師

二・二十二

三重県津市大里窪田町

西源寺住職

國府谷盛徳

贈 権少僧正

三・四

三重県鈴鹿市高岡町

念聲寺坊守

坂 深雪

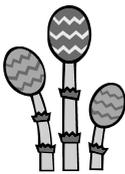
三・十三

福島県南相馬市原町区橋本町

泰澄寺住職

武田 公之

贈 権大僧都



第三十八回住職補任研修会報告

去る二月二十三日(土)午後より二十四日(日)午前中まで、一泊二日にわたり住職補任研修会が、教師二名参加の下に開催されました。

尚、研修内容は次のとおりです。

真宗教義と高田派の歴史	九十分
声明	九十分
現状と課題(座談会)	六十分
宗教法人法・寺院規則	六十分
晨朝参拝・説教聴聞	九十分
住職道・布教道	九十分
法式作法	九十分
以上	九十分

第六十八回

檀信徒研修会ご案内

五月三十一日(金)午前九時三十分より檀信徒研修会を開催いたします。

開会式を、御影堂で行った後、高田会館に会場を移し、佐波真教師から「高田のあゆみ」北畠大導師から「高田の作法」のお話をして頂きます。続いて「おかげさまの生活 ―真宗のこころ―」をテーマに岡崎市浄泉寺住職戸田恵信師の講演を拝聴します。

また午後は分散会に先立って、如来堂と御影堂の普段見られない場所を職員が案内いたします。ぜひご参加下さい。

第五十五回

高田派婦人連合大会お知らせ

六月二日(日)午前十時三十分より、御影堂にて高田派婦人連合大会を開催いたします。

午前は、式典を行います。婦人会による献花・灯献香・少年少女の献花・法主殿のお言葉・会長御裏方様の御挨拶・祖師寿の表彰を行います。

午後は、NHK学園・東方学院講師黒田文子先生の講演「ご縁をたいせつに」と、高田幼稚園園児による合唱がございます。

皆様お誘いあわせの上、ご参加下さい。



本山行事予定

(五月・六月)

五月六日～八日

堯禛上人御正當

五月二十一日

親鸞聖人降誕会

五月二十一日

宗祖親鸞聖人への讃歌

声明凱旋公演

五月二十一日～二十三日

第十八世円遵上人

二百年忌法会

五月二十一日～二十三日

第二十一世堯熙上人

百年忌法会

五月三十一日

檀信徒研修会

六月二日

高田派婦人連合大会

六月十六日

真宗高田派佛教保育講座

六月二十二日～二十三日

高田派青年の集い

下付金のお知らせ

平成二十四年度分院号下付金、及び納骨壇加入下付金を専修寺正味財産に計上いたしました。

(平成三十年五月三十一日付)

院号冥加金、及び納骨壇加入冥加金の下付金は納入された年度から、五年を経過したものは、専修寺正味財産に計上されるため、交付出来ませんのでご注意ください。

詳しくは宗務院財務課までお尋ね下さい。

お詫びと訂正

宗報平三十一年二月号(九百十八号)二十頁「報恩講特別展観目録」

誤
智上人坐像

正
顕智上人坐像

謹んでお詫びし、訂正致します。



親鸞聖人降誕会

宗旦古流 呈茶席のご案内

場 所 三重県史跡名勝 安楽庵
日 時 令和元年5月21日(火)

◇ 呈茶一服 1,000円

※蓮の花びらをモチーフにした銘々皿を記念にお持ち帰り
いただきます。

◇ 呈茶チケットを入口にてお求めください。
(当日販売のみ)

第1席	10:00～	}	当日9:30よりチケット販売開始
第2席	10:30～		
第3席	11:00～		
第4席	11:30～		
第5席	12:00～		
第6席	12:30～	}	当日11:30よりチケット販売開始
第7席	13:00～		
第8席	13:30～		
第9席	14:00～		

◇ 1席20名まで

※雨天の場合は呈茶会場が変更となります。

お問い合わせ 宗務院内 宗旦古流事務局
TEL 059-232-4171 中野・吉田まで

宗門のお知らせ

眞宗高田派共済会のご案内

眞宗教学奨学金

眞宗高田派の寺族で眞宗教学に関する研究心旺盛な者に対して、奨学金を貸与します。

・高等学校生及び眞宗各派の専修学院生	月額	2万円	若干名
・大学生及び大学院生	月額	4万円	若干名
・ ” ”	月額	8万円	”

提出書類：所定の申請書1通、在学証明書1通(学生証の写可)
返済に関する事項を熟知下さい。

奨励金

眞宗高田派の僧侶が、定められた学校に入学したときに、奨励金を支給します。

・奨励金 4万円

提出書類：所定の申請書1通、入学証明書又は在学証明書1通
(学生証の写し可、合格通知書は不可)
定められた学校とは、下記に該当する学校及び学科です。

眞宗各派の専修学院、私立高田高等学校、大学の眞宗学科及び仏
教学科 短期大学の眞宗学科及び仏教学科

上記の申請は毎年3月1日から5月末日までに行ってください。
申請に関する事項及び詳細につきましては共済会担当までお尋ね
下さい。

給付及び申請のお問い合わせは、下記の共済会担当まで
お尋ねください。

〒514-0114

三重県津市一身田町2819番地

眞宗高田派宗務院内

眞宗高田派共済会

電話 059-232-4171

F A X 059-232-1414

人権擁護啓発活動重点項目

- 一、国際時代にふさわしい人権意識を育てよう。
- 一、子どもの人権を守ろう。
- 一、高齢者の人権を尊重しよう。
- 一、病気・部落などによる差別をなくそう。
- 一、障害者の完全参加と平等を実現しよう。

「三重県人権教育基本方針」より抜粋



平成三十一年四月二十五日印刷
平成三十一年四月二十五日発行

三重県津市一身田町二八一九番地
電話（〇五九）二三三―四一七一
<http://www.senjui.or.jp>

真宗高田派本山専修寺

発行所 宗務院

振替〇〇一五〇―〇一五一九四番

三重県津市一身田町七六五番地

印刷所 相和印刷所

電話（〇五九）二三三―二〇七〇